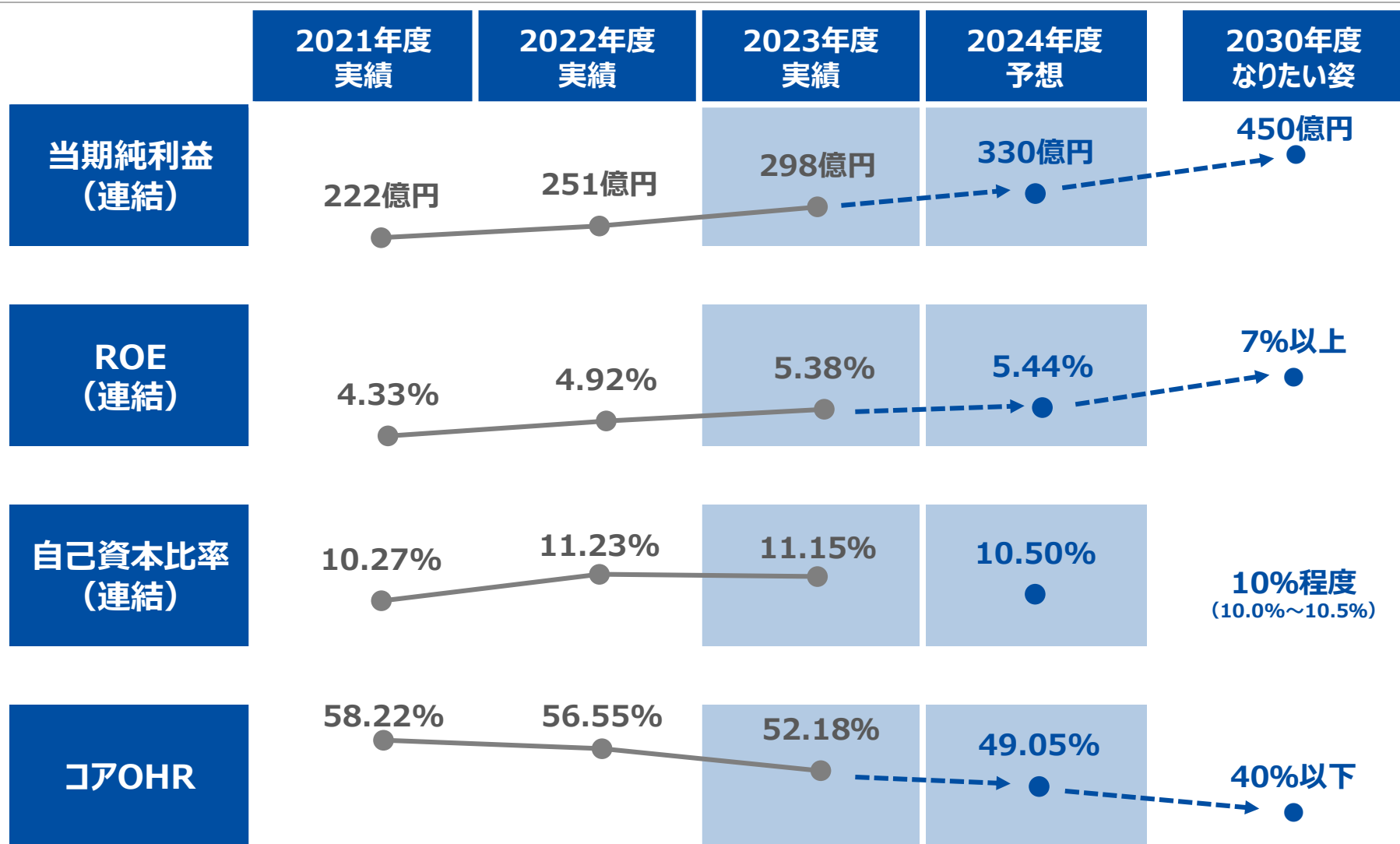


03

七十七グループの
価値向上

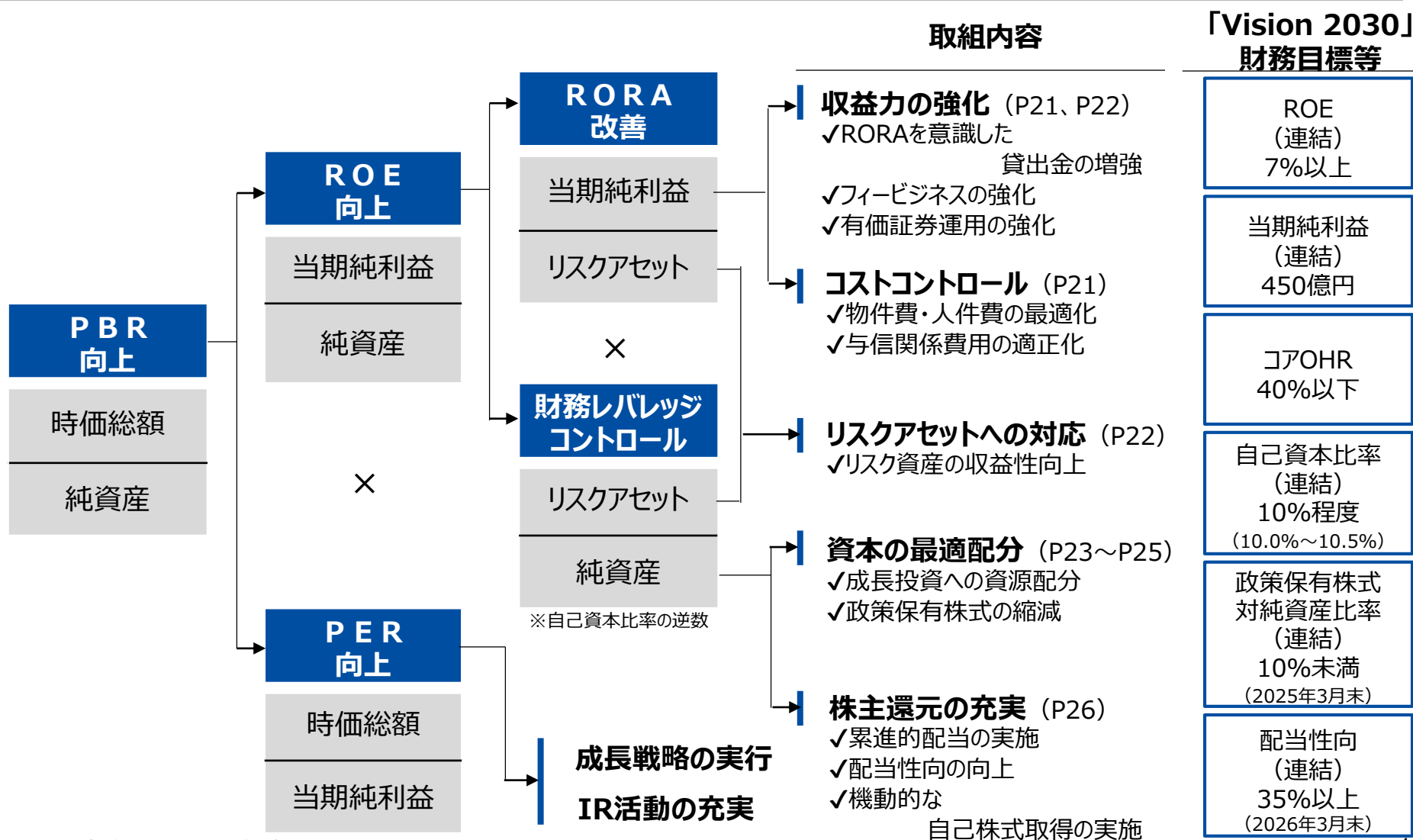
トップラインの増加等により当期純利益は過去最高を更新、ROEは5%超に上昇

財務目標の進捗状況



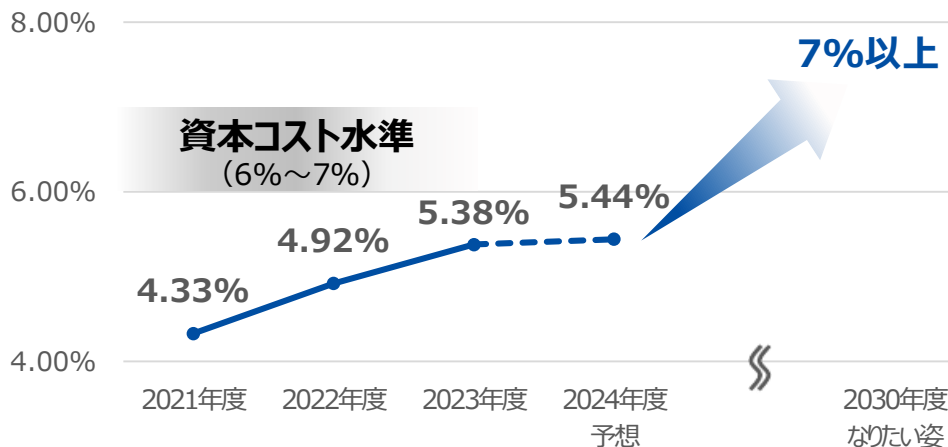
PBR向上に向け、収益力の強化、採算性の向上を通じ資本効率を高めていく

PBR向上に向けたアプローチ



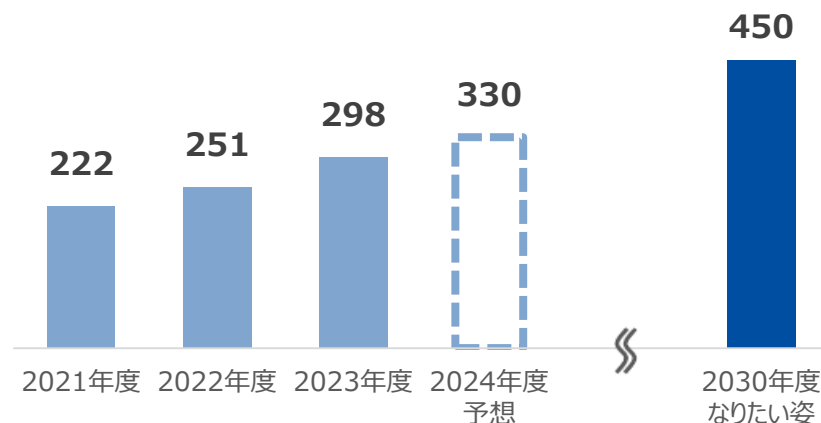
収益性の向上、自己資本の適切なコントロールを図りながら、資本効率を意識した経営を実施

ROE（連結）の推移



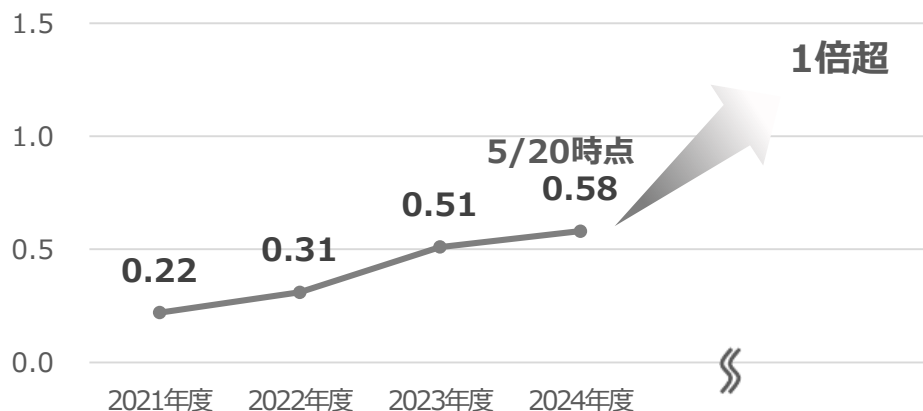
当期純利益（連結）の推移

(単位：億円)

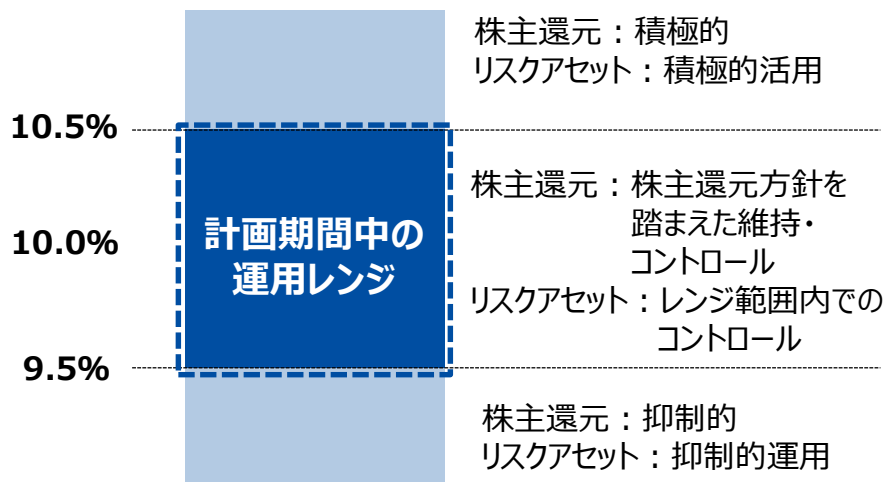


PBRの推移

(単位：倍)

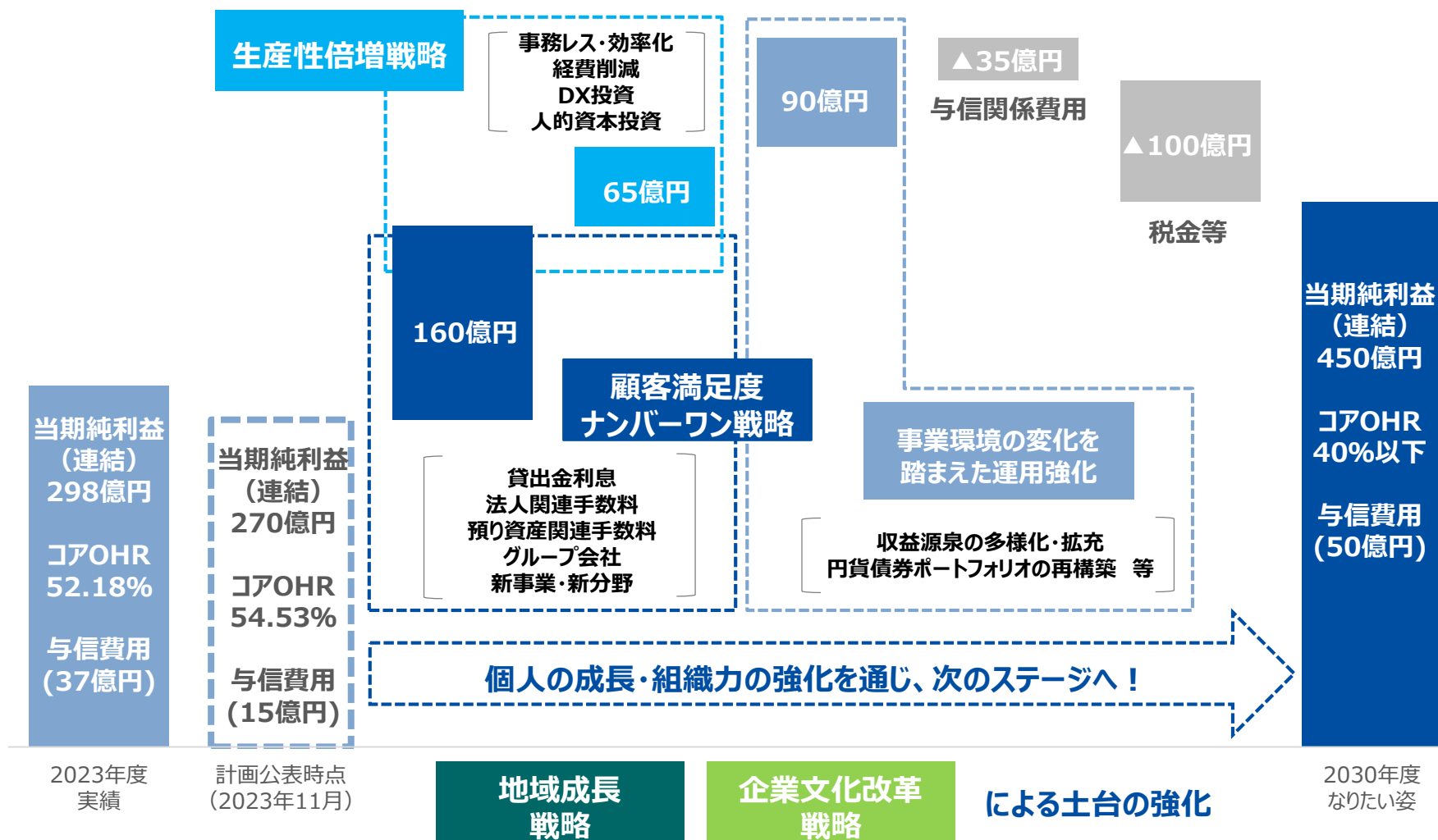


計画期間中の自己資本比率（連結）の運用レンジ



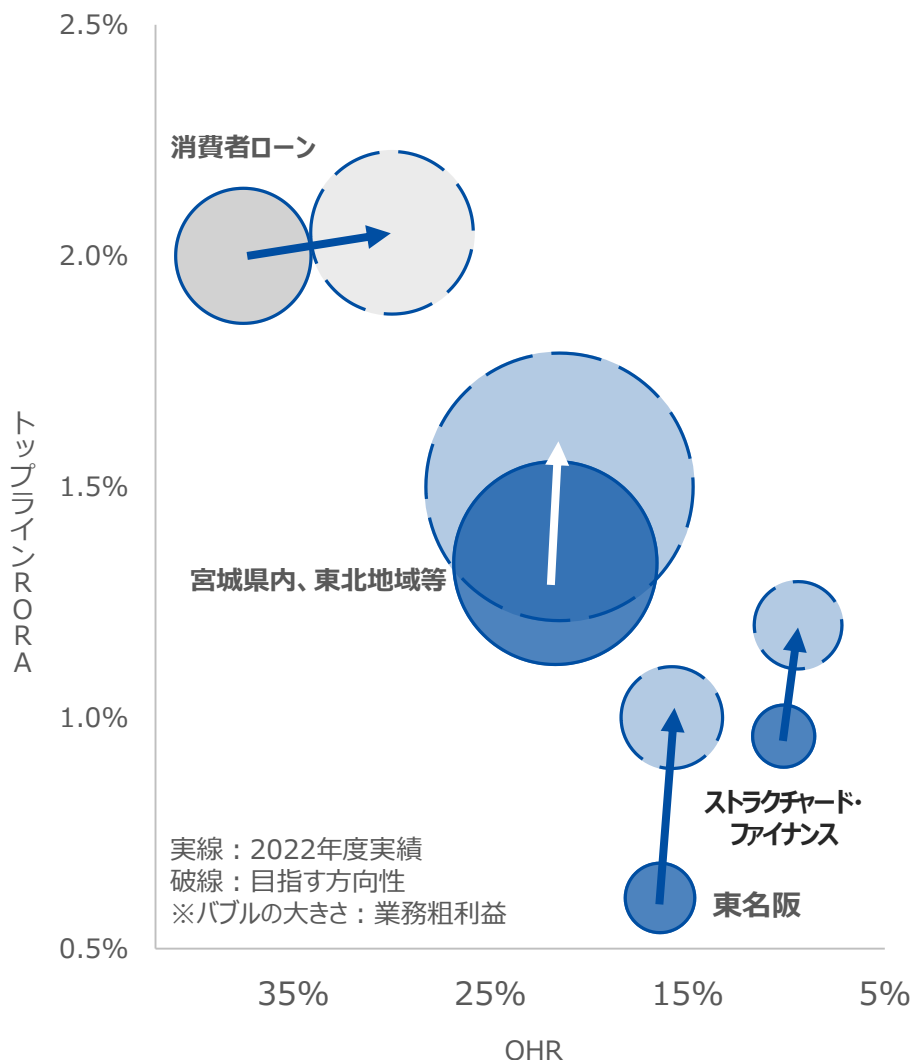
「Vision 2030」に掲げる施策を通じ、収益力の強化を図る

当期純利益（連結）の増益イメージ



RORAを意識した貸出金の増強によりリスクアセット収益の向上を図る

トップラインRORA・OHRの水準



事業性貸出

- 収益拡大と利回り改善によるトップラインの引上げ
- ✓ 採算把握シートの活用による顧客別・案件別採算向上
- ✓ 金利上昇を踏まえた適切な貸出金利の設定
- ✓ コンサルティングを通じた非金利収益の増強
- ✓ リスク管理を含めた取組領域の拡大・収益多様化 (SF)

消費者ローン

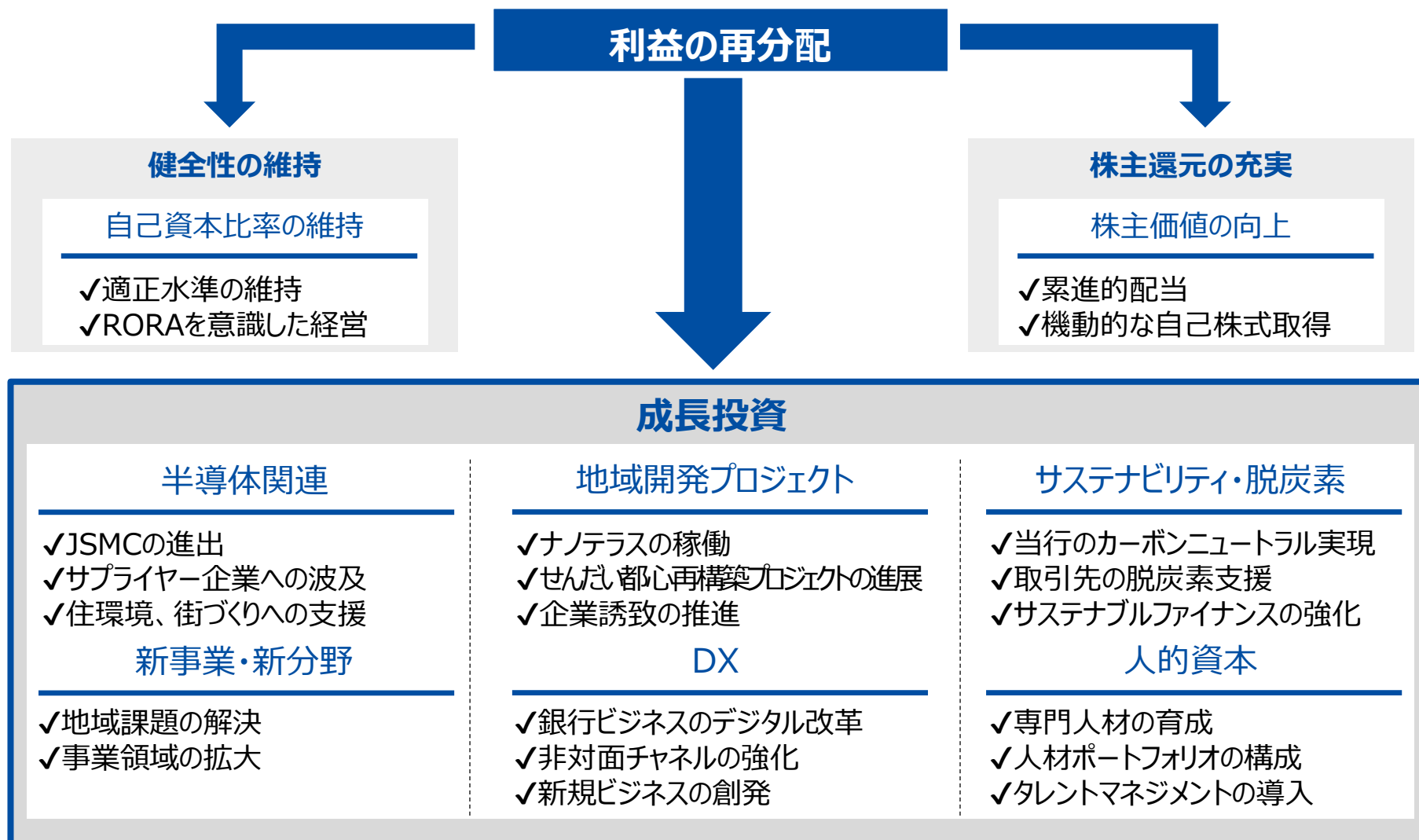
- 総合取引と業務効率化によるOHR改善
- ✓ 金利上昇を踏まえた適切な貸出金利の設定
- ✓ クロスセルを通じた非金利収益の増強
- ✓ 非対面取引の拡充等による経費低減

モニタリング強化

- ※1. トップラインRORA = 収支 ÷ リスクアセット
- ※2. 収支 = 貸出金利息 + 役務収益 (与信関係手数料) - 調達コスト
- ※3. リスクアセット = 貸出金に対するリスクアセット (空枠を含む)
- ※4. OHR = 経費 ÷ 業務粗利益
- ※5. 経費 = 業務別の原価計算により配賦 (営業店・本部人員の各業務への従事割合等、本部管理経費等は考慮せず)
- ※6. 業務粗利益 = 収支 (※2) + その他役務利益 (ローン費用等)

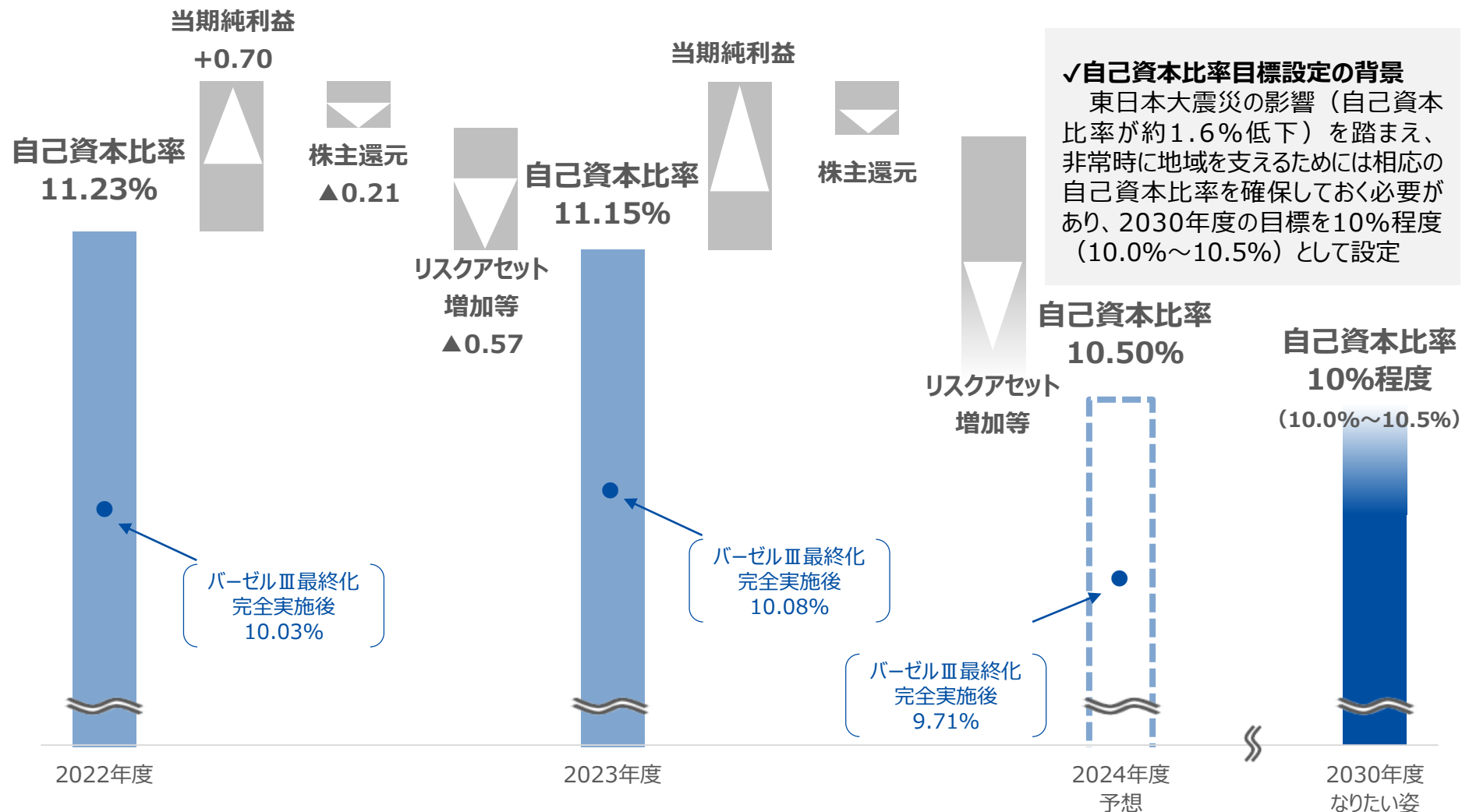
持続的な成長を意識し各ステークホルダーへ適切な利益の再配分を実施

キャピタルアロケーションの考え方



自己資本比率の維持に向け、適切なコントロールを実施

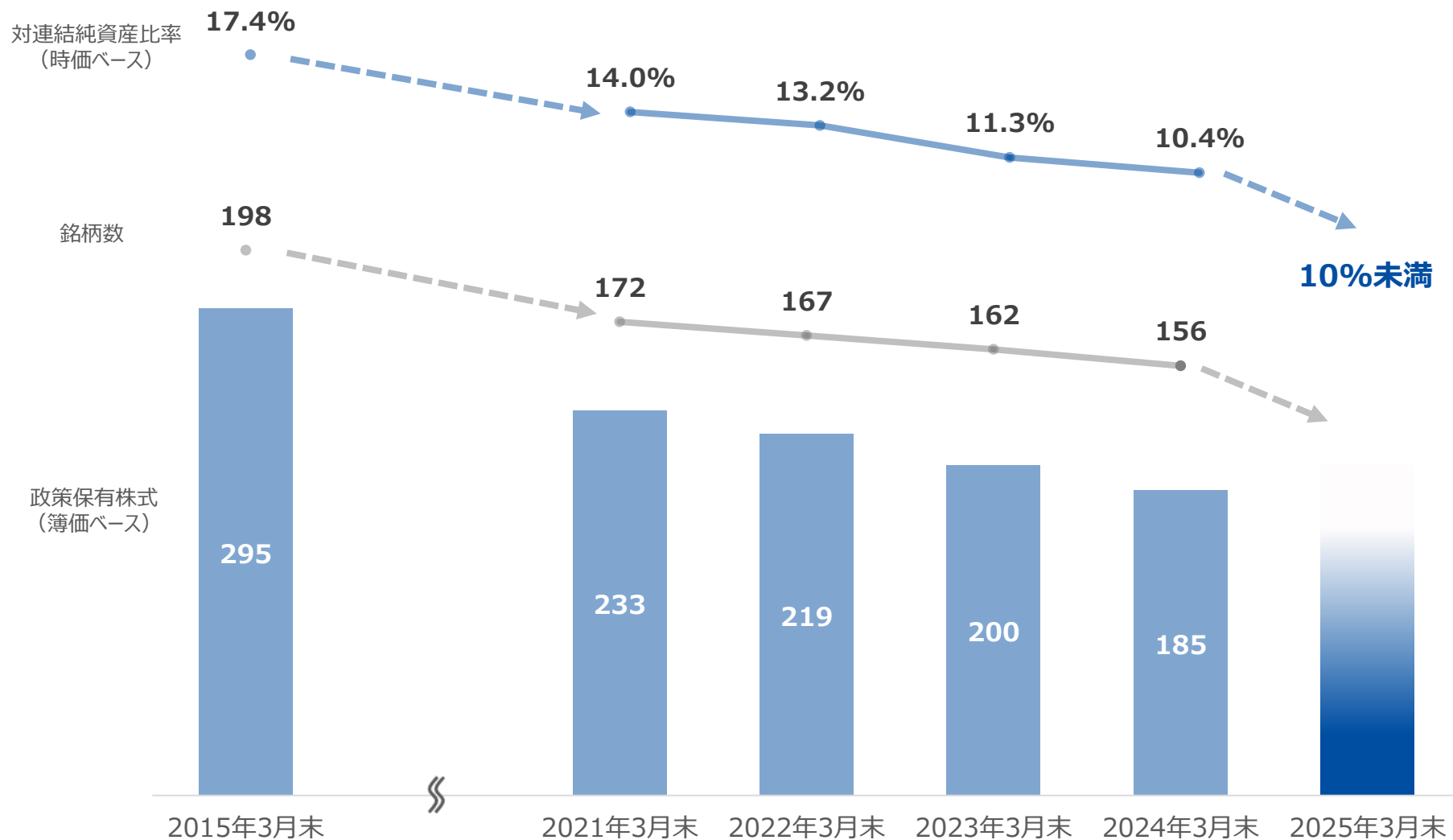
自己資本比率（連結）の維持



継続的な縮減を進め、今年度中に対連結純資産比率を10%未満へ

政策保有株式の縮減

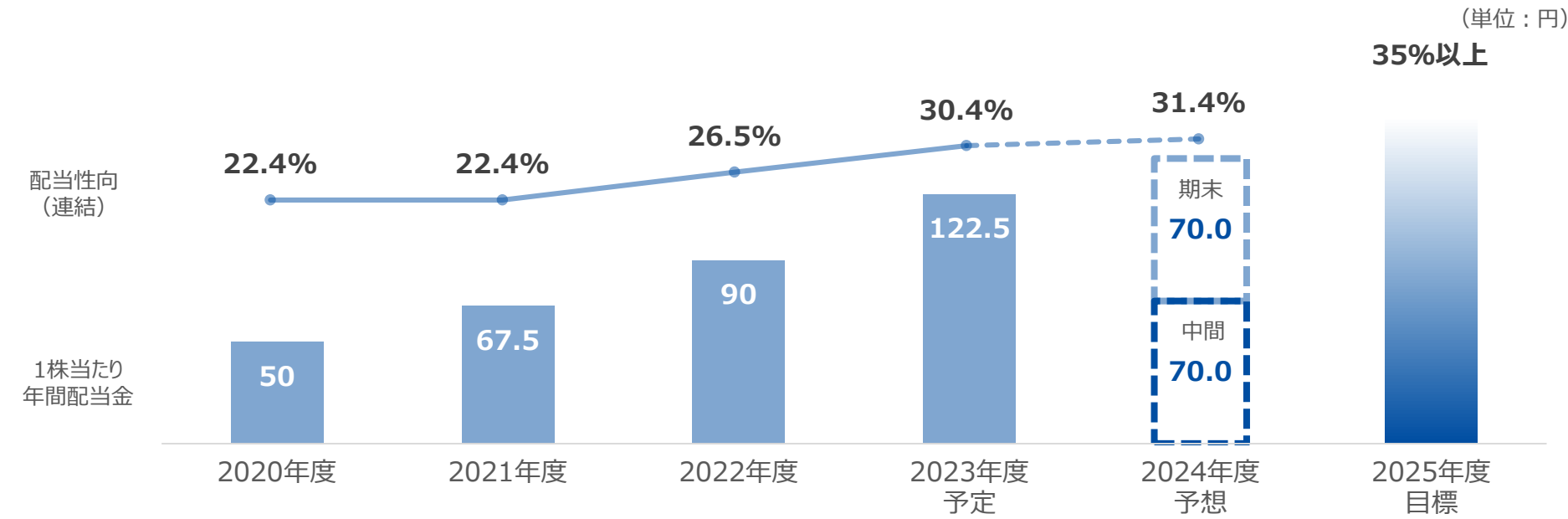
(単位：先、億円)



配当性向の引上げを図るとともに、機動的な自己株式取得を継続検討

株主還元方針（2023年11月見直し）

銀行業としての公共的性格と経営の健全性維持等を考慮し、財務基盤の強化を前提として、累進的配当により、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向を2025年度までに35%以上に引き上げるとともに、機動的な自己株式取得により、株主利益と資本収益性の向上を目指していく。



配当金総額	37億円	50億円	67億円	92億円	105億円	—
当期純利益 (連結)	165億円	222億円	251億円	298億円	330億円	350億円